

安倍氏「岸田政権下で実現 岸田首相「強く進めたい」

改憲をめぐる発言と自民党公約

		改憲をめぐる発言と自民党公約
岸田首相	9月27日	任期中にこの（自衛隊明記の9条改憲を含む）4項目について憲法改正の実現を目指し…。
安倍元首相	10月24日	岸田政権のもとで、憲法改正を実現したい。
自民党公約		早期の憲法改正を実現する。

「任期中の改憲」を繰り返し明言している岸田文雄首相。違憲の安保法制を正当化するため、安倍晋三元首相が持ち出した「自衛隊

「安倍改憲」総選挙で終止符を

明記」の9条改憲を継承するものです。自民党は総選挙公約に「早期の憲法改正」を明記しています。安倍改憲を終わらせるのか、それとも「継承」を許すのか—まさに総選挙の一大争点です。

選挙戦が終盤にさしかかるなか、「本家本元」の安倍元首相が街頭演説に「参戦」。改憲推進を各地で絶叫しています。しかも「岸田政権の下で憲法改正を実現したい」（東京9区、24日）とまで述べています。

まるで岸田政権は、改憲の野望を実現するまでの手足であるかのようですが、

当の岸田首相は26日発売の右派雑誌『Hanad a』12月号で、「総裁任期中の憲法改正の実現」を改めて明言。「改正を強く進め

めたい」としています。岸田氏は、安倍政権のもとで自民党政調会長として、改憲の全国行脚の先頭に立つてきた“美績”もあります。

また改憲の突撃部隊である日本維新の会は、全国進出で勢力拡大を狙っています。

これに対し市民と野党の共闘は、「共通政策」で、安保法制等の「違憲部分の廃止」に続け「コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する」と明記。平和憲法の精神に基づき、平和の創出の外交努力を行うとの対決軸を鮮明にしています。

日本共産党は「四つのチ ェンジ」の第4のチエンジで、安倍改憲に終止符を打ち、9条を生かした平和外交の推進を掲げています。